

研究助成金A 8件 (1件：400万円)

研究テーマ①創薬を指向した合成化学の新しいアプローチ

採択番号	氏名	所属機関、職名 (申請時)	研究題目
16-A1-1	青木 伸	東京理大・薬・生命創薬科学・ 生物有機化学 教授	DNA型テンプレート上の遺伝情報の化学的転写反応によるプログラム化糖鎖合成法
16-A1-2	椿 一典	京府大大学院・生命環境科学・ 応用生命科学・機能分子合成化学 教授	ナフタレン環の崩壊を伴う新反応を使用した生理活性化合物の合成
16-A1-3	眞鍋 敬	静岡県大・薬・医薬品化学 教授	毒性ガス代替化合物を用いる安全・簡便な遷移金属触媒反応の開発

研究テーマ②タンパク質恒常性の維持とその破綻 (プロテオスタシス)

採択番号	氏名	所属機関、職名 (申請時)	研究題目
16-A2-1	野田 展生	微生物化学研・分子構造解析 主席研究員	オートファジーによるタンパク質の選択的分解機構の解明
16-A2-2	畠山 鎮次	北大大学院・医・生化学・医化学 教授	TRIMファミリーユビキチン化酵素によるタンパク質安定性制御
16-A2-3	村田 茂穂	東大大学院・薬・蛋白質代謝学 教授	プロテアソーム機能制御による疾患治療のための創薬基盤研究

研究テーマ③神経系と免疫系のクロストークの新展開

採択番号	氏名	所属機関、職名 (申請時)	研究題目
16-A3-1	倉田 祥一郎	東北大大学院・薬・生命機能解析学 教授	ショウジョウバエ免疫系を制御する神経細胞の同定と機能解析
16-A3-2	眞鍋 一郎	千葉大大学院・医・長寿医学 教授	神経-免疫システム連携による心臓恒常性の維持と心不全発症機序の解明と医療応用

研究奨励金B- I 20件 (1件：150万円)

研究テーマ①創薬を指向した合成化学の新しいアプローチ

採択番号	氏名	所属機関、職名 (申請時)	研究題目
16-B1-1	浅野 圭佑	京大大学院・工・材料化学・有機反応化学・松原研 助教	生物活性複素環の不斉構築を伴う分子連結反応による医薬候補化合物群のライブラリー合成
16-B1-2	篠崎 喜脩	千葉がんセ研・がん遺伝創薬 博士研究員	親水性/疎水性保護基による難溶解性人工ペプチド合成法の確立
16-B1-3	滝田 良	理化研・環境資源科学研究セ・先進機能元素化学 副チームリーダー	特徴的な炭素骨格を基盤とする創薬を志向した新反応・新物性・新機能
16-B1-4	原田 慎吾	千葉大大学院・薬・創薬科学・薬化学 助教	潜在的対称性を活かした生物活性物質のダイバージェント合成
16-B1-5	原田 真至	千葉大大学院・薬・薬品合成化学 助教	基質のらせん状変形で実現する複素環融合型中員環合成
16-B1-6	矢崎 亮	九大大学院・薬・環境調和創薬化学 助教	特殊ペプチド医薬品創製を指向した極度の立体障害を有する非天然型 α -アミノ酸合成

研究テーマ②タンパク質恒常性の維持とその破綻 (プロテオスタシス)

採択番号	氏名	所属機関、職名 (申請時)	研究題目
16-B2-1	新木 和孝	産業技術総合研・創薬分子プロファイリング研究セ・システム数理統合 研究員	翻訳後修飾の動的多層プロファイル情報をもとにしたプロテオスタシス定量化技術の開発
16-B2-2	加藤 哲久	東大医科研・感染・免疫・ウイルス病態制御 助教	ウイルス蛋白質の品質管理機構に関する解析
16-B2-3	金蔵 孝介	東京医大・分子病理学 講師	ALS原因遺伝子C9orf72遺伝子産物によるProteostasis破綻機構の解明
16-B2-4	國井 政孝	阪大大学院・医・細胞生物学 助教	リソソーム開口放出の分子機構の解明と、それを促進する低分子化合物の探索
16-B2-5	武内 敏秀	阪大大学院・医・神経難病認知症探索治療学 寄附講座講師	細胞非自律的プロテオスタシス維持機構の解明と神経変性疾患における変容解析
16-B2-6	本間 謙吾	東大大学院・薬・細胞情報学 特任助教	SOD1プロテオスタシス制御の破綻によるALS発症機構の解明

研究テーマ③神経系と免疫系のクロストークの新展開

採択番号	氏名	所属機関、職名（申請時）	研究題目
16-B3-1	及川 大輔	阪市大大学院・医・分子病態学 講師	直鎖状ユビキチン鎖を介した神経変性疾患における神経・炎症クロストークの新展開
16-B3-2	大谷 健太郎	国立循環器病研究センター研・再生医療 上級研究員	摂食亢進ホルモンを介した自律神経系と免疫系のクロストーク機構の解明
16-B3-3	大槻 元	京大白眉セ大学院・理・生物物理学・機能構造認識 特定准教授	脳炎に関わる免疫-神経連関を介した興奮性可塑性機序の全容解明
16-B3-4	小西 博之	名大大学院・医・機能組織学 助教	脳内マクロファージの移動による末梢免疫反応の制御
16-B3-5	塩飽 裕紀	東京医歯大大学院・精神行動医学 医員	統合失調症の自己抗体による分子病態の解明
16-B3-6	住谷 瑛理子	東大大学院・医・免疫学 特任研究員	骨髄の形成において神経系が果たす役割の解明
16-B3-7	村尾 直哉	宮崎大・医・機能制御学・機能生化学 助教	脳内の免疫恒常性破綻による精神疾患の共通発症機構の解明
16-B3-8	渡邊 康春	富山大大学院・医薬・免疫バイオ・創薬探索研究 客員講師	視床下部炎症により摂食調節異常を誘導する自然免疫シグナルの機能解析

研究奨励金B-II 7件 (1件:150万円)

公募研究テーマによらない

採択番号	氏名	所属機関、職名 (申請時)	研究題目
希望領域①化学・物理学系			
16-C-2	奥田 健介	神戸薬大・薬化学 教授	ガス状シグナル分子のクロストーク解明を可能とするマルチカラー蛍光イメージングプローブの開発
16-C-5	平井 剛	九大大学院・薬・薬物分子設計学 教授	基質構造を持つ新規シアリダーゼ阻害剤の開発
希望領域②基礎医学・生物学系			
16-C-1	上野 将紀	新潟大・脳研・システム脳病態学 特任教授	健常脳と障害脳の運動神経回路システムの動作原理
16-C-3	照沼 美穂	新潟大大学院・医歯学総合・口腔生化学 教授	神経細胞保護作用のあるGABAB受容体の発現調節メカニズムの解明
16-C-4	原田 浩	京大・放射線生物研究セ・ゲノム動態研究 教授	低酸素応答機構とがん抑制機構の相互作用によるがんの悪性進展機構の解明
16-C-6	堀 昌平	東大大学院・薬・微生物薬品化学 教授	制御性T細胞による免疫制御機構の解明
16-C-7	山口 知也	熊本大大学院・生命科学・がん生物学 准教授	がん細胞でのROR1による生体膜ダイナミクス制御機構の解明

アジア地域招聘国際共同研究助成金 7件

採択番号	受入研究者（申請時）	被招聘研究者（申請時）	研究題目
TBRF-RF-94	長田 裕之 国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センターケミカルバイオロジー研究グループ グループディレクター	Azhar Rasul Japan Society for the Promotion of Science Postdoctoral Fellow パキスタン	がん代謝を標的とした小分子化合物の探索と作用解析 Targeting cancer cell metabolism by small molecules
TBRF-RF-95	川村 猛 東京大学アイソトープ総合センター プロテオミクス研究室 准教授	Sujin Lee Dept. Biomedical Engineering, Lund University, Sweden Postdoc 韓国	クロマチン複合体の質量分析による解析のためのアプタマーと微小流体デバイスを用いたクロマチン精製法の開発 Chromatin affinity purification using aptamer and specifically designed microfluidic device for mass spectrometry analysis of chromatin complex
TBRF-RF-96	顧 建国 東北薬科大学細胞制御学教授	Dongmei Zhang Jiangsu Province Key Laboratory for Inflammation and Molecular Drug Target, Nantong University Associate Professor 中国	神経炎症における糖鎖の機能解析 Functional analysis of N-glycosylation in neuroinflammation
TBRF-RF-97	鈴木 孝禎 京都府立医科大学大学院医学研究科 医薬品化学研究室 教授	Prakash Muthuraj Indian Institute of Technology Madras Senior Research Fellow インド	創薬を目指したDNAメチル化制御薬の創製 Development of DNA methylation modulators toward drug discovery
TBRF-RF-98	辞退		
TBRF-RF-99	藤田 英明 長崎国際大学薬学部 機能形態学研究室 教授	Jose C. J.M.D.S Menezes Goa University Postdoctoral Researcher インド	抗HIV宿主因子発現誘導およびHIVアクセサリータンパク質の機能阻害を指標とした新規抗ウイルス薬シーズの探索 Identification, design, synthesis and biochemical investigation of novel antiviral drugs
TBRF-RF-100	脇本 敏幸 北海道大学大学院薬学研究院 天然物化学研究室 教授	Hui Tan 九州大学大学院生物資源環境科学府 大学院生 中国	海洋天然物の創薬シーズへの展開 Development of Marine Natural Products for Drug Seeds

TBRF- RF-101	國澤 純 医薬基盤・健康・栄養研 究所 プロジェクトリーダー	Prabha Tiwari 医薬基盤・健康・栄養研究所 Visiting Reseacher インド	食事性脂質を起点とした内因性抗アレルギー炎症性脂質による皮膚免疫の制御とメカニズム解明 Endogenous lipid mediator in the control of skin inflammation
-----------------	---	---	--

海外派遣補助金（後半期） 1件

採択番号	氏名 役職・所属	学会 日程・開催地	発表タイトル	交付額
16-D-7	菅野 純 労健安全機構・日本バイオアッセイ研究センター 所長	The XIV International Congress of Toxicology (ICTXIV) 平成28年10月2日～6日 Mexico	招待講演：Introduction to the Percellome Project with special reference to the concept of “signal toxicity”, and the use of Garuda Platform as a tool for Open Toxicology	20万円

海外招聘補助金（前半期） 6件

採択番号	招聘される研究者 役職・所属	学会 日程・開催地	受入責任者	交付額
16-D-1	Yun Zhang Professor, Center for Brain Science, Harvard University, USA	嗅覚における感覚応答行動の最新の研究成果 平成28年6月5日～9日 神奈川・パシフィコ横浜	飯野 雄一 東大大学院・理 教授	35万円
16-D-2	Saeed Khan Finlayson Professor, Department of, Pathology, Department of Urology, College of Medicine, University of Florida, USA	第13回国際尿路結石症学会 平成28年7月19日～22日 千葉・幕張メッセ国際会議場	市川 智彦 千葉大大学院・医 教授	35万円
16-D-3	Carol Ann Mason Professor, Columbia University, USA	第39回日本神経科学大会 平成28年7月20日～22日 神奈川・パシフィコ横浜	入来 篤史 理化研・脳科学総合研究センター シニア・チームリーダー	50万円
16-D-4	Steffen Jung Professor, Weizmann Institute of Science, Israel	第24回マクロファージ分子細胞生物学国際シンポジウム 平成28年6月4日～5日 東京・ソラシティカンファレンスセンター	樗木 俊聡 東京医歯大・難治研 教授	40万円
16-D-5	Andrea Ablasser Assistant Professor, Global Health Institute Ecole Polytechnique Federale de Lausanne (EPFL), Swiss	第15回あわじしま感染症・免疫フォーラム 平成28年9月6日～9日 兵庫・淡路夢舞台国際会議場	藤田 尚志 京大・ウイルス研 教授	50万円

16-D-6	Thomas Kensler Professor, University of Pittsburgh, USA	第89回日本生化学会大会 平成28年9月25日～27日 宮城・仙台国際センター/東北大 川内北キャンパス	山本 雅之 東北大大学院・医 教授	40万円
--------	---	---	-------------------------	------

海外招聘補助金（後半期） 6件

採択番号	招聘される研究者 役職・所属	学会 日程・開催地	受入責任者	交付額
16-D-8	Carl-Henrik Heldin Director & Professor, Ludwig Institute for Cancer Research, Uppsala University, Sweden	第75回日本癌学会学術総会 平成28年10月6日～8日 神奈川・パシフィコ横浜	宮園 浩平 東大大学院・医 教授	45万円
16-D-9	Daniel Choquet Director, CNRS- Bordeaux University, France	シナプスの暗号を紐解く 平成28年10月26日～28日 愛知・岡崎コンファレンスセン ター	深田 正紀 生理研 教授	20万円
16-D-10	Markus Aebi Professor, Department of Microbiology, Swiss Federal Institute of Technology, Switzerland	第24回日本糖鎖科学コンソーシ アムシンポジウム 平成28年11月1日～2日 東京・御茶ノ水ソラシティカン ファレンスセンター	平林 淳 産総研 首席研究員	40万円
16-D-11	Yasmine Belkaid Chief, Mucosal Immunology Section, National Institute of Allergy and Infectious Diseases (NIAID), USA	第45回日本免疫学会学術集会 平成28年12月5日～7日 沖縄・沖縄コンベンションセン ター、ラグナガーデンホテル	坂口 志文 阪大・免疫学フロンティア研 究セ 教授	50万円
16-D-12	Goldman Daniel Professor, University of Michigan, USA	第90回日本薬理学会年会 平成29年3月15日～17日 長崎・長崎ブリックホール、長 崎新聞文化ホール アストピア	植田 弘師 長崎大大学院・医歯薬 教授	45万円
16-D-13	Hiro-o Hamaguchi Professor, National Chiao Tung University, Taiwa	第137回日本薬学会年会 平成29年3月24日～27日 宮城・仙台国際センター	遠藤 泰之 東北医薬大 教授	30万円

奨学補助金 15件

採択番号	氏名・身分 (申請時)	指導者・所属	研究題目
16-S-1	石田 良典 (継続) 博士課程2年	小林 資正 阪大大学院・薬 天然物化学	海洋天然物を基盤とするがん細胞の低栄養環境適応機構の解明と新規抗がんリード化合物の創製
16-S-2	大下 隆一郎 (継続) 修士課程2年	長瀬 博 筑波大 国際統合睡眠医科学研	1,3,5-トリオキサザトリキナン骨格を基本骨格とした創薬研究
16-S-3	富永 拓 (継続) 修士課程1年	柳沢 正史 筑波大 国際統合睡眠医科学研	ナルコレプシーの根本治療を目的とした低分子量オレキシン受容体アゴニストの開発
16-S-4	MADTOOKUNG MUTTIKA (継続) 博士課程2年	杉山 大介 九大先端医療イノベーションセンター 臨床試験	サラセミアモデルマウスを用いた新規サラセミア標的分子の同定
16-S-5	Hasan Mohammad Mahadi (継続) 博士課程1年	斎藤 博幸 京薬大 薬品物理化学	微弱電流刺激が細胞内物質輸送に及ぼす影響の評価
16-S-6	磯部 順哉 学部6年	長谷 耕二 慶大・薬 生化学	腸内細菌代謝物によるIgA産生誘導機構の解明
16-S-7	岡田 星 学部4年	豊田 真弘 大阪府大大学院・理 分子科学	鎖状分子からベンゼノイド化合物への触媒的ワンポット変換法の開発と生物活性天然物合成への展開
16-S-8	候 聡志 博士課程2年	油谷 浩幸 東大・先端科学技術研究セ ゲノムサイエンス	心不全の病態解明及び治療を目指した非心筋細胞一細胞解析
16-S-9	河野 将人 修士課程2年	根本 哲宏 千葉大大学院・薬 薬化学	ナイトレノイドを用いるC-Hアミノ化反応
16-S-10	Sheuli Afroz 博士課程1年	田中 保 徳島大大学院・医歯薬 脂質生化学	胃腸粘膜の防御機能を強化する脂質メディエーターに関する研究
16-S-11	杉原 康平 博士課程3年	竹谷 豊 徳島大大学院・医歯薬 臨床食管理	抗老化遺伝子Klothoを標的とした炎症性腸疾患の新規治療の確立
16-S-12	辻 竣也 学部6年	佐藤 晃一 山口大大学院・連合獣医 獣医薬理	向精神薬Perphenazineの抗がん効果の解析
16-S-13	西田 健人 博士課程1年	丸山 徹 熊本大・薬 薬剤学	アルブミン融合技術と腎送達システムを組み合わせた次世代型心腎連関治療薬の開発
16-S-14	平岡 桐子 博士課程2年	永瀬 浩喜 千葉大大学院・医薬 先端医薬・分子腫瘍学	変異型KRAS遺伝子を標的として新規アルキル化剤の作用機序の解明と応用
16-S-15	古川 かほり 修士課程2年	田中 正一 長崎大大学院・医歯薬学総合 分子創薬科学・薬化学	非天然型アミノ酸を含有するペプチドの構造と機能化に関する研究